

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公表番号】特表2013-539380(P2013-539380A)

【公表日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2013-524380(P2013-524380)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/00 3 0 1 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年7月27日(2015.7.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 2】

創傷は、人又は動物の外部身体の組織の連続性の分離として定義される。それは結果として基層の損失を伴い得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 6】

前記課題は、前記ポリウレタンフォーム(C)が、D I N E N I S O 8 4 5 (試験体の寸法は100mm×100mm×50mm、測定は標準環境、即ち23、50%相対湿度で実施され、試験体は試験の前24時間標準環境下1013mbaで馴化)で測定して、原料密度が、1.5と5.5kg/m<sup>3</sup>の間、より好ましくは2.0と3.5kg/m<sup>3</sup>の間、さらに好ましくは2.2と3.0kg/m<sup>3</sup>の間、特に2.4と2.8kg/m<sup>3</sup>の間である場合に、予想を超えて有利に解決されることが示された。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 4】

好ましくは、成分(i i - P U R)内のポリエステルポリオールの使用である。ポリエステロール(i i - P U R)は通常は、多官能性アルコール、好ましくは2から12個、好ましくは2から6個の炭素原子を持つジオールと、2から12個、好ましくは4から8個の炭素原子を持つ多官能性カルボン酸との縮合反応により生成される。好適な酸の例は、例えばコハク酸、グルタル酸、アジピン酸、フタル酸、イソフタル酸及び/又はテレフタル酸及びそれらの混合物である。アジピン酸が特に好ましい。適切な二及び多価アルコールの適切な例は、エタンジオール、ジエチレングリコール、1、4-ブタンジオール、

1、5 - ペンタンジオール及び / 又は 1、6 - ヘキサンジオール及びそれらの混合物である。1、4 - ブタンジオールが特に好ましい。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 8 8】

フォーム B ( 比較 ) は、ポリエーテルポリオールとイソシアネートから製造され、標準環境下で 3 日保存した後の引張強度は 115 kPa であり、ウシ血清中に 3 日貯蔵した後の引張強度は 72 kPa であった。